

【千葉県木更津市】【千葉労働局・ハローワーク木更津】

移住・定住者受け入れ促進のため、木更津市・ハローワークがUIJターン事業「地元企業合同就職説明会」を実施

【課題・目的】

地方創生の一環として、首都東京都内に在住の若年層を中心として、千葉県木更津市近郊への就職希望者の掘り起し及び地元企業へのマッチング機会の提供

【実施概要】

- 日時：平成29年10月6日（金）
- 場所：東京新卒応援HW「出会いのフロア」
- 求職者との個人面談（説明や採用面接）
- 移住・定住相談窓口の設置
- ハローワークブースの設置

【役割分担】

【木更津市】

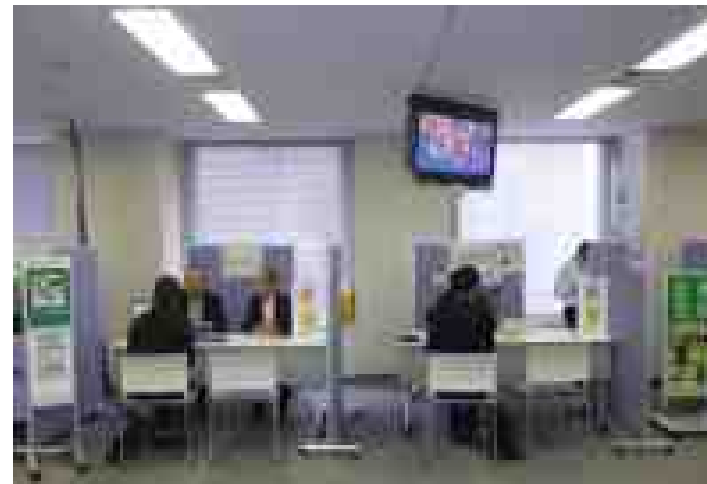
- * 周知広報全般
- * 参加企業への勧奨協力
- * 会場の設営
- * 開催当日の運営及び人員配置
- * 関係機関等との調整全般

【ハローワーク】

- * 職業相談、紹介に関する全般
- * 参加企業への勧奨、取りまとめ
- * 参加企業の求人受理
- * 開催当日の運営及び人員配置
- * 求職者への参加呼びかけ

【効果】

- | | |
|----------|-------------------|
| * 参加企業数 | 22社 |
| * 参加求職者数 | 18名（新卒者5名、既卒者13名） |
| * 面接等数 | 42件 |
| * 採用数 | 4名 |



<木更津市コメント>

ハローワークと市が連携し、実現した本事業は、地域経済の活性化及び移住・定住促進に有効な施策と考えます。引き続き、関係機関と連携し、地方創生に繋がる事業の推進に取り組めます。

<ハローワークのコメント>

UIJターン就職の成功は、全国ネットワークを構築しているハローワークと、移住・定住に力を入れている地方自治体との連携が、必要不可欠であると感じた。

【新潟県】【新潟労働局】

県外学生のU・Iターン就職促進のため、

「U・Iターンセミナー&個別相談会」を開催

【課題・目的】

大学等新規卒業者の県内就職者数が減少している中、新潟県へのU・Iターン就職を促進するため、県と国が都内で一体的に運営する「にいがたUターン情報センター」において、県外大学に在学する大学4年生等を対象にしたセミナーと個別相談会を開催。

【実施概要】

平成29年6月3日、学生向けハローワーク求人の公開に併せて開催

- ◆セミナー：U・Iターン就職に関するポイント、県内求人の状況、センターの活用方法などを説明
- ◆個別相談会：一人一人の状況に応じた職業相談、県内企業の情報提供、履歴書等記載の相談などを実施

【役割分担】

【新潟県】

セミナー及び個別相談会の企画立案、周知、セミナーの実施

【国】

周知、個別相談の実施（職業相談、ハローワーク求人や県内企業の情報提供等）

【効果】

- ◆ 新潟県へのU・Iターン就職を促すことに加え、県内の就職関連情報を得にくい県外学生を支援することができた。
- ◆ 本セミナーの参加者のうち、一定数の学生が県内就職に至った。



《U・Iターンセミナーの様子》

＜新潟県コメント＞

セミナーでのU・Iターン就職などに関する説明に加え、個別相談会での具体的なハローワーク求人の提供等を通じて、新潟県内への就職に結びついている。

また、「合同就職面接会」や「学生×企業との交流会」などでも労働局と連携を密にして取り組んでいる。

＜労働局コメント＞

Uターン関連施設としては、全国的にも数少ない国と県との一体的実施施設として、連携を密にした運営を行い、各種セミナー、面接会等の実施にとどまらず、個別職業相談・紹介につなげている。

【福井県坂井町】【福井労働局ハローワーク三国】

坂井市・三国ハローワークがUIJターン支援のための

「県外就職面接会等」を開催

【目的】

大都市圏に在住する坂井市出身の学生及びUIJターン希望者に対し、地域産業活性化と人材確保を図ることを目的に就職面接会等を開催。

【実施概要】

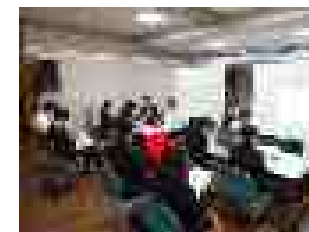
- ・坂井市内の企業7社による就職面接会……………大阪
- ・坂井市内の業界の代表企業による業界説明会……………名古屋
- ・坂井市内の業界の代表企業による学生との意見交流会……京都

※市⇒移住・定住に係る支援制度及び坂井市のPR

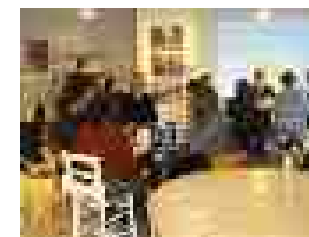
※国⇒UIJターンの職業相談、求人情報の提供



(京都チラシ)



(大阪会場写真)



(京都会場写真)

【役割分担】 ※開催に当たり、連絡会議を3回開催

【坂井市】

- ・市広報誌やHPによる保護者、市民等への周知
- ・移住・定住支援のリーフレット等の作成、市のPR
- ・当日の会場設営、開催にかかる準備

【国】

- ・県外の関係機関への周知
- ・HPによる周知・広報
- ・UIJターン求人情報の作成
- ・当日のUIJターン職業相談等

【効果】

- ◆「就職面接会」⇒大阪会場 7社 計17名参加により企業面接39件 1人が内定
- ◆「業界説明会」⇒名古屋会場 6社 計5名参加
- ◆「意見交流会」⇒京都会場 5社 計15名参加

<坂井市コメント>

29年度は、3地区で事業展開したところ、少なからず手ごたえがありました。

今後も企業における人材確保対策に取り組むとともに「就職面接会」等を継続的に開催し、UIJターン対策を通じて魅力ある就業の機会の創出を図っていきます。

<労働局コメント>

県外学生等への周知が課題であったが、市、労働局に加えて県事務所のUターンアドバイザーや開催地の労働局へも周知依頼する等、各方面の協力、連携により一定の参加者がえられた。

【岐阜県郡上市】【岐阜労働局ハローワーク岐阜八幡】

地元企業の魅力を内外に広く周知、アピールする事業を展開

～若年者層に対する継続的な地元企業の魅力発信を行い、若年者の地元定着を目指す～

【課題・目的】

若年者の地元就職の促進を図るため、早期から企業を知ってもらう仕組みづくりと進学で転出した若者のUターン等を促すための事業を展開。

【実施概要】

- ◆早期から地元企業を知ってもらう仕組み
 - ①市内の産業紹介DVDの作成、配布（小学生対象）
 - ②郡上わく！わく！ワーク見学会（中学生対象企業見学会）
 - ③夢づくり市内企業研修（小、中学校教職員対象企業見学会）
- ◆高校生への企業説明会
 - ①郡上未来塾（全8回）②郡上高校企業ガイダンス
- ◆大学生や既卒者等Uターンを促す事業の実施
 - ①大学等就職担当者と市内企業との情報交換会
 - ②郡上市合同企業説明会 in 名古屋



《ハローワーク岐阜八幡と郡上市の連携による事業》

【役割分担】

【郡上市】

- ・大学等訪問し情報交換
- ・各種事業の周知
- ・会場設営等事業の運営
- ・関係機関との調整
- ・企業への周知、連絡等

【商工会】

- ・ガイドブックの作成
- ・ホームページの運営管理
- ・各種事業の予算管理

【ハローワーク】

- ・管内高校との調整等
- ・参加事業所の選定、連絡等
- ・職業相談ブースでの相談等

＜郡上市コメント＞

高校卒業後、8割が進学等により市内を離れる現状から、若年者の人材確保に向けて継続的に事業を推進していきたい。

＜ハローワークコメント＞

若年者層の定着には早い段階から地元企業の魅力を継続的にアピールする必要がある。連携することにより、対象範囲の拡大や周知方法等、多様な事業の展開が可能となる。

【効果】

- ◆事業を継続的に実施した結果、高校生へ直接事業所のアピールをする機会等から、管内就職率が増加した。（H20：39.8%→H29：57.8%）
- ◆名古屋で面接会を行い、Uターン以外に移住希望の若者等Uターンの相談もあった。
- ◆雇用対策協議会会員には、連携し雇用対策に取り組んでいる姿勢をアピールするとともに事業の継続的な実施を望む声が多く聞かれた。

《照会先》 岐阜労働局職業安定部職業安定課（TEL058-245-1311）

【岐阜県加茂郡白川町】 【岐阜労働局ハローワーク美濃加茂】

人材確保対策のため、白川町のまち・ひと・しごと創生推進に係る連携協定を締結

【課題・目的】

それぞれが持つ求人・求職・空き家情報を共有し、移住定住の推進を図る

魅力ある多様な就業の機会を創出し人材を確保することにより、白川町の人口減少に歯止めをかけ、活力ある町づくりに資することを基本理念とし、地方創生における雇用対策として、情報の共有化及び相互に連携を密にした総合的、効果的、一体的な活動を進める

【実施概要】

白川町移住・交流サポートセンターの開設

- ◆ 『出張ハローワークinしらかわ』の開催（月1回）
- ◆ 仕事情報チラシの作成・配布（年3回）
- ◆ 移住・空き家相談、移住相談会、空き家バンクの登録、田舎暮らし体験住宅の利用
- ◆ 住宅取得等支援事業補助金の交付、移住者交流会開催、ccNetでの地元企業紹介



【役割分担】

【白川町】

白川町役場内に移住・空き家相談のワンストップ窓口「白川町移住・交流サポートセンター」の開設

- ・ 移住、空き家相談、空き家バンクの登録
- ・ 住宅取得等支援事業補助金の交付
- ・ 移住者交流会開催
- ・ ccNet地元企業紹介 等

【ハローワーク美濃加茂】

- ・ 月1回出張ハローワークを開設し、1ターン、Uターン希望者、白川町在住者の就職相談。企業や個人経営者の求人相談を実施
- ・ 企業説明会の実施

<白川町コメント>

移住希望者に本町を案内するとき、住居と仕事の両方をセットで紹介できることが大切かつ最大のメリットだと考えます。

その意味で「出張ハローワーク」の意義は大きいです。

<ハローワークコメント>

活動が徐々に浸透してきており出張ハローワークの利用者も増えてきました。

今後は町と協力し企業側の情報も充実させマッチングの精度を上げて就職件数を増やしていきたいと思っています。

また、町と連携し新たな取組みにも挑戦していきたいと思っています。

【効果】 29年度実績

- ◆ 平成29年度 出張ハローワークへの来所者・・・求職者述べ80件、求人者10件
- ◆ 町内の事業所1社での職場見学・面接会・・・参加者8名（就職決定者無）
- ◆ 移住相談111件、空き家相談35件、空き家現地案内85件、移住した者13世帯35人
- ◆ 住宅取得等支援事業補助金の交付（購入補助5件、改修補助9件、家賃補助17件）
- ◆ 移住者交流会開催1回、63名参加
- ◆ ccNet地元企業紹介（毎月1回最終金曜日、紹介企業2年間で16社）

《照会先》 岐阜労働局職業安定部職業安定課（TEL058-245-1311）

【海南市】【和歌山労働局ハローワークかいなん】

人材確保対策のため、共同事業として求人開拓を実施

【課題・目的】

- 和歌山県には大学が少なく、高校卒業後、県外に進学する学生が多く、そのまま県外に就職することが課題となっている。そのため、地元企業の魅力を広く発信して、市内企業の人材確保と、Uターン就職の促進を図る。

【実施概要】

- 海南海市内の企業へ採用計画の調査を実施し、採用計画に基づいた求人開拓及び求人情報を、海南海市出身者等に対し、LINE等で発信する。
- 市のHPへ採用計画を掲載し、広く周知を行う。

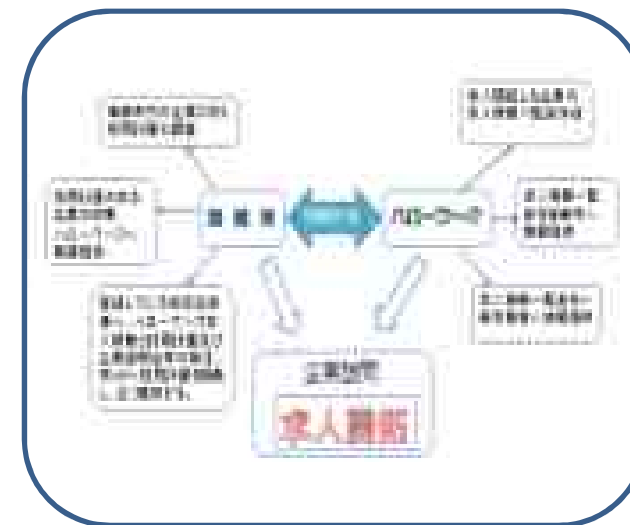
【役割分担】

【海海市】

- 市内の企業へ採用計画の調査を実施。
- 市出身学生（親元）へ、採用計画及び企業説明会等の情報をLINE等で発信
- ホームページでの周知

【国】

- 採用計画に基づいた求人開拓及び求人情報一覧作成・発信。
- ハローワークを通じた一般求職者へのPR



＜海海市コメント＞

地元企業の雇用の拡大と若年者の地元就職を促進していきたい。

＜労働局コメント＞

連携を密にして、求人確保に努めていきたい。

【効果】

- 合同で求人開拓することで企業に対してのPR効果が大きい。
- 過去求人がなかった企業からの20件の求人確保ができた。
- 一般的な企業情報にはない情報を入手することができた。

【岡山県高梁川流域圏域7市3町】【岡山労働局・管轄6ハローワーク】

雇用確保対策・U I Jターン促進のため、共同で面接会等を実施

【課題・目的】

岡山県西部を流れる高梁川流域圏の7市3町と管轄する6ハローワーク・労働局が「高梁川流域就職面接会等開催事業実行委員会」を組織し、地元企業の雇用確保対策、流域外からのU I Jターンを目的として面接会や企業見学バスツアー等を連携して開催。

【実施概要】

- ◆ 新卒者・35歳以下の既卒者、U I Jターン希望者等の就職促進、流域管内企業の労働力確保のため、面接会を年2回（岡山会場・倉敷会場）において開催。翌春卒業予定者を中心として企業説明会を開催。
- ◆ 圏内における魅力ある企業の発掘、学生等への情報発信・交流を目的にバスツアー形式による企業訪問を夏季・冬季に計5回開催。

【役割分担】

【流域圏市町】

- ・各自治体企業に参加要請を実施。
- ・県内及び県外大学等へ事業実施に係る説明や学生への周知を依頼
- ・各自治体HPでの周知・広報
- ・移住、定住相談の実施。

【国】

- ・地元企業に就職を希望する求職者や管轄内の大学等へ周知・広報を実施。
- ・新卒応援HWから学生への周知
- ・労働局HPによる開催周知

【効果】

- ◆ 面接会を2回、説明会1回実施し、合計96社、学生等約110人参加し11人が流域圏内企業に就職。
- ◆ バスツアーは、学生延べ80人が参加し、企業を訪問（延べ14社）。情報交換を実施すること等により、地元企業の知識を習得。



◀上段；面接会状況、下段；バスツアー様子▶

＜倉敷市コメント（事務局自治体）＞
1人でも多くの方に流域管内事業所に就職していただくためにも、今後もハローワークと連携を図っていくこととしたい。

＜労働局コメント＞

単体の自治体のみではなく、流域を形成する自治体と管轄のHWが共同して雇用確保・U I Jターンのために事業実施することは、有意義であり、情報の共有化の観点からも効果的である。

【香川県さぬき市】【香川労働局ハローワークさぬき】

若者の地元企業への就職促進のため、共同事業として職場見学ツアーを実施

【課題・目的】

さぬき市では、さぬき市在住の大学生（短大生及び専門学校生含む）や、市内の大学に通う学生が、卒業後、市外の企業へ就職するケースが多い。

このため、「さぬき市地元企業魅力発見バスツアー」と題した職場見学ツアーを実施し、就職活動を控えている学生に、市内企業の魅力を伝える機会を提供し、若者の地元定着と地元企業の人材確保を支援する。

【実施概要】

大学生（主に3年）・短大生（主に1年）を対象とし、地元企業4社をまわる職場見学ツアーを市と国が共同で実施。9名が参加。



【役割分担】

【さぬき市】

- ◆ 見学先企業の開拓
- ◆ 参加者の募集・申込受付
- ◆ 見学ツアー全体の運営

【ハローワーク】

- ◆ 見学先企業の選定
- ◆ 地元大学生への周知
- ◆ 県内ハローワークへの周知

【効果】

- ◆ 作業現場や職場の雰囲気等を知ったうえで応募を検討できる。
- ◆ 参加者へ直接企業のアピールができる。
- ◆ 参加者の反応も概ね好評で、「仕事の内容がよくわかった」「企業の方から直接話が聴けてよかった」との声があった。

＜さぬき市コメント＞

小規模・製造業が大半を占める本市ですが、魅力ある企業も多く存在し、職場見学により、就職・定住に繋がる見学会を実施したい。

＜ハローワークコメント＞

若者の地元企業への就職・定着が課題となっている中で、効果的な取組と考えている。今後も市と連携した雇用対策を進めていきたい。

【長崎県西海市】【長崎労働局ハローワーク西海】 若年者の地元定着と企業の魅力を情報発信！参加者にも新たな発見が・・・

【課題・目的】

西海市は、新規学卒者等をはじめとする若年労働者の市外流出や急速な少子高齢化が進むなか、近い将来、労働力人口が大幅に減少することが懸念されている。そこで、地元企業の魅力を情報発信する場を提供することで、参加者にも新たな発見を期待し、求人求職のマッチングに繋げる。また、夏の帰省時期に開催することで、U・I・Jターン又は移住者等の面談機会を提供し、西海市の魅力を発信する。

【実施概要】 ≪平成28年8月11日（金・祝）開催≫

●参加企業 15社 高校生と先生が希望する企業・誘致企業・商工会推薦企業等

●企業説明会（第1部）午前の部
高校生及び保護者向け

- ・生徒が企業ブースを訪問
- ・企業説明者のうち1名は若手社員

●企業面談会（第2部）午後の部
一般求職者・U・I・J希望者・新卒者

- ・面談を希望する企業ブースを訪問
- ・適職診断、職業相談、移住相談コーナー併設



≪西海市とハローワーク西海及び関係機関の連携による企業説明会・企業面談会≫

【役割分担】【共通】HP掲載、会場運営

【西海市】

- ・市長による企業ブース訪問
- ・会場借り上げ、設営
- ・送迎バスの運行
- ・広報紙、新聞折込み
- ・ポスター、企業PRシート印刷
- ・防災行政無線による開催案内
- ・移住相談コーナー運営

【西海市商工会】

- ・会員企業への参加要請

【若年者地域連携事業】

- ・高校、企業へのヒアリングと参加要請
- ・ポスター、チラシのデザインと校正
- ・企業PRシートの原稿依頼と校正
- ・企業サインの作成
- ・適職診断コーナー運営

【ハローワーク西海】

【ヤングハローワーク長崎】

- ・求人受理と求人票印刷製本
- ・求職者、学校への参加要請

【長崎県総合就業支援センター】

- ・適職診断コーナー運営

【効果】

- ◎参加者【第1部】65人 【第2部】29人 面談総数47人 就職件数4人
- ◎参加企業のうち6社が高卒求人提出。西海市内の高校生の採用実績が前年度実績ゼロが、今年度7名が採用となった。この企業説明会が高校生と地元企業の交流の場となったことが採用に繋がったと思われます。

＜ハローワーク西海コメント＞

西海市から企業面談会の共催依頼を受けて、市が抱える課題・目的とハローワークの政策的課題がマッチングしたことで、様々な関係機関や団体を巻き込み、それぞれの強みを活かすことで、短期間でこのイベントを開催することができました。西海市での初開催でしたが、参加者及び企業アンケートの結果も概ね好評でした。

その後も、医療福祉分野の面談会（1月）や高校1.2年生を対象とした企業研究会（3月）も開催するなど、引続き市や関係機関と連携し、地域住民サービスの向上を図っているところです。

≪照会先≫ 長崎労働局職業安定部職業安定課
（電話番号）095-801-0040
（HPアドレス）<https://jsite.mhlw.go.jp/nagasaki-roudoukyoku>

【長崎県西彼杵郡時津町】【長崎県】【ハローワーク長崎】

町主催若者の地元就職のため合同企業面談会を開催

【課題・目的】

- ◆町内において少子高齢化が進み、人口流出が問題となるなか、若者の地元就職、Uターンを推進する。また、地元企業の人材不足対策を図る。

【実施概要】

- ◆平成29年10月時津町が主となり、合同企業面談会を開催。参加対象企業は、町内に就業場所がある事業所。参加者は、新規学卒者及び既卒3年の求職者、Uターン希望者等。
- ◆参加事業所の意向確認・集約、高校等への参加依頼等を町が行った。

【役割分担】

【町】

事業所情報収集
参加事業所集約
広報資料作成
周知・広報、
当日運営

【県】

周知・広報

【商工会】

企業への参加要請
周知・広報

【国】

求人開拓
配布用求人票準備
周知・広報
当日運営

【効果】

- ◆面談会参加は、地元企業12社、参加者19名、面談数は46件となり、新規大卒者等3名の就職につながった。



《時津町と長崎県とハローワーク長崎との連携による合同企業面談会》

＜時津町コメント＞

- ◆地元企業の人材確保が厳しい中、本町では、新たな雇用の創出や安定した雇用の確保を最重要施策と位置付け、合同企業面談会を開催し、若者の地元就職を積極的に推進することといたしました。今後もハローワーク長崎、県、商工会と連携させていただき、地域に貢献できる企業面談会を実施していきたいと考えております。

＜ハローワークコメント＞

- ◆今後の開催について、効果的な面談会となるよう連携していきたい。

【大分県中津市】【大分労働局中津ハローワーク】

人材確保対策のため、共同事業として就職面接会を開催を実施

【課題・目的】

大学進学等で市外に転出した大学等卒業予定者や、UIターン希望者及び一般求職者等と市内企業とのマッチングを図り、地域の雇用の拡大と安定及び移住促進を目的として実施する。

【実施概要】

- ◆各企業毎に個別のブースを設け、人事担当者が就職希望者へ企業情報等の説明を行う。
- ◆ハローワークによる職業相談コーナーの設置や、各就職支援機関の相談コーナー及びUIターン希望者向け（空き家情報等）の相談コーナーを設けて、各種情報提供を行う。

【役割分担】

【中津市】

- 管内企業への参加要請
- 会場確保
- 当日の進行役

【国】

- 求職者へ開催周知
- ブース設置による職業相談
- 出席者へ雇用関係資料提供

【効果】

- ◆市内企業36社の参加を得て、求職者69名が面接会に臨み11名（6社）の新たな雇用が生まれた。



《ハローワーク中津と中津市の連携による就職面接会》

＜中津市コメント＞

ハローワークや各機関との連携により11名の雇用が確保できた。また、参加者の98%より「就職活動に役立った」との回答があり、連携開催の事業効果があったと評価している。

＜労働局コメント＞

中津市との連携により雇用の確保が図られた。今後も、連携強化による取り組みを実施していく。